



【外国人と働く！】を応援する日本語学校
I.C.NAGOYA 永田 陽子

3つの貢献 「顧客への貢献」 「社員への貢献」 「社会への貢献」

- 顧客への貢献：日本の言葉や文化を学びたい人々に、イノベーティブでニーズに沿った学びを提供します。
- 社員への貢献：社員・スタッフ一人ひとりが自分たちの仕事と会社に誇りを持ち、成長できる職場環境を追究します。
- 社会への貢献：我々ならではの教育で日本と世界を結び、グローバル社会における人の繋がりと成長に寄与します。

「1 / 1 の教育」

全受講生一律ではなく、
一人ひとりの受講生と向き合って、
一人ひとりの受講生の幸福を願って、
一人ひとりの受講生を「育む」ことを重視する。

日本語学校事業

【法務省告示日本語学校】

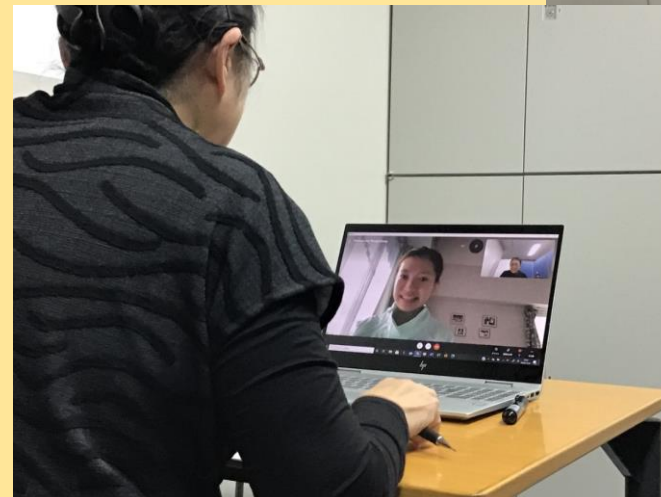
- ・ 留学生への日本語教育
- ・ 就職や大学進学サポート



法人事業

★国内の企業・社会福祉法人
医療法人への日本語教師派遣・通学
及びオンライン日本語教育

★国外の日系企業への
オンライン日本語教育



外国人介護職員向け オンライン日本語学習コース

読む、書く、聞く、話すの4技能を大切にしています

初めて介護職に就く外国人のための介護の日本語サポート
実務者研修受講、介護福祉士試験に必要な日本語サポート

日本の職場でチームとして働くために必要なことを学びます

- ①自己理解と他者理解を深める
- ②母国の文化を人に伝える、日本の文化を知る
- ③母国のマナーと日本のマナーの違いを整理する

その他、オプションとしてキャリアアンケートの実施

詳しくはこちら





カンファレンス実施

I.C.NAGOYAの担当者と施設のご担当者様とで
3か月に一度を目途に、課題解決や受講生及び
ご担当者様の意欲喚起のためのミーティングを行います。

- ご担当者様のストレス軽減へ
- 受講者の学習モチベーション向上へ



意欲喚起教育実践事例

★社会福祉法人 特別養護老人ホームA Bさんの課題★

介護のスキルはあるが、日本語でのコミュニケーションが少ない。
このままでは、日本語力もつかず、介護福祉士にも合格できない！

～普段の日本語学習から少し離れて～意欲喚起の取り組みの実施

- ①自己理解と他者理解を深める **(傾聴練習)**
- ②母国の文化を人に伝える、日本の文化を知る
- ③母国のマナーと日本のマナーの違いを整理する



★Bさんの振り返りアンケート★

- ・ 授業がとても良かった。
- ・ 日本のマナーについてよくわかった。
- ・ 「自己理解、他者理解を深めよう」が良かった。
- ・ 話しやすかった。たくさん冗談が言えてよかった。
- ・ 家族や入居者様とのコミュニケーションに役立ちそう。
- ・ 介護と日本語の勉強を頑張りたい。
- ・ 特に話すことが苦手なのでたくさん話したい。

★その後の施設の取り組み★

日本人スタッフと仕事以外の
コミュニケーション時間を作った



★ その後のBさんの様子 ★

施設担当者様からのメッセージ

個別の特別授業を行ってもらった後、本人から
「日本語で話すことが楽しかった」と言われました。

その後、介護福祉士の国家試験が来年になって時間も迫ってきたため
Bさんから直接「勉強がしたい」と言われました。

日本語が苦手だったのですが、今では「日本語が少しずつ分かってきて楽しい。介護の勉強も
楽しくなってきた」と言っています。

消極的だったBさんが、みんなで勉強しようと呼び、**授業以外でも集まって勉強するようになりました。**
自宅での勉強時間も増えたと言っています。今では、勉強の質問も出るようになりました。

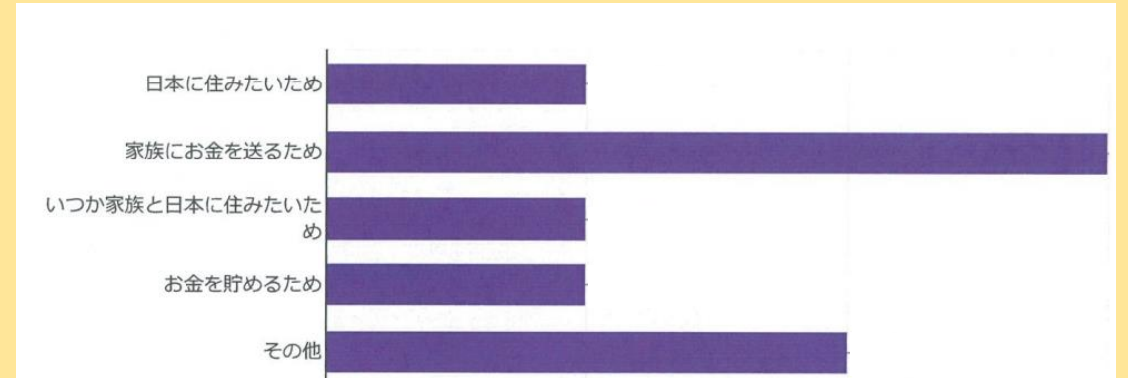


★社会福祉法人 特別養護老人ホームC 対象：8名★

Qなぜ日本で働こうと思いましたか？

1位 家族にお金を送るため

- ・母国の経済状況が良くないから。
- ・妹が大学に入るため。
- ・両親に仕事がない。そのため、父親が仕事に就くための研修費を投資している。
- ・子どもが医者になりたいと言っていて、学費がかかるため。



日本は安全な国、親切な人が多い国だから。

アニメが好きで、いつか字幕なしでアニメが見たかった。

オンラインキャリアアンケートより

Q他の施設で働きたいと思うことはありますか？

「はい、どちらともいえない」→8名の内、5名

- ・コロナ禍で母国の経済状況が悪化。少しでも給与が高いところに行きたい。
- ・彼氏の家近くに住みたいと思うことがある。
- ・都会に住みたい。田舎で友達に出会えるチャンスが少ない。

→今の介護施設のチームワークは全員(8名)がとても良いと答えており、「はい、どちらともいえない」の5名の内4名は、**他の施設に行くことで今よりいい人間関係を築くことができるか心配**。新しいところで仕事を覚えるのは大変と回答。

Q介護の仕事の中でどんなことを頑張ってみたいですか？

- ・日本語でコミュニケーションをとること、漢字。
- ・日本語で話すこと（入居者さんや職場の仲間）。
- ・日本語でのコミュニケーションがもっとうまくなって、リーダーになりたい。
- ・介護福祉士試験に合格すること。
- ・介助頑張る。**入居者さんは痛くても自分では伝えられないことがある。他の人の気持ちが表情からでもわかるようになりたい。**

★社会福祉法人 特別養護老人ホームC Dさん★

2020年度介護福祉士試験 合格可能性高

試験が終わって目標がなくなり、退屈になってしまった・・・

グループ内に医療法人あり、看護師へのチャレンジ？

JLPT（日本語能力試験）N1チャレンジ？

もっと給与の条件のいいところに移ろうか・・・

他の職員と一緒にあって、入居者さんが笑顔になる取り組みをすることに感動できるようになった！

→担当者様へフィードバック

Dさんは、他の職員からの信頼も厚く、外国人のリーダーの役職を作れないか？本格検討へ

オンライン
交流会(無料)
随時受付中!



外国人職員を受け入れるときに、どんな準備をしたらいいの？

異文化理解交流会

日本で働く外国人の気持ちを聞いてみよう!



外国人職員が活躍できるための支援

- ①職場での定着支援
- ②生活基盤を整える支援
- ③地域社会になじむ支援



日本で働くフィリピン人、ベトナム人、インドネシア人、中国人などの「笑いあり」本音トーク!

日本の職場で苦労していることは？
母国との違いは？

外国人から日本人はどう見えてる？

職場のチームワークはどうですか？

聞くだけ、見るだけという参加方法もOKです!



異文化理解交流会(オンライン)申込みの流れ

- ①申込希望の方は、info@icn.gr.jpに、以下情報をお送りください。
 - ・担当者様氏名
 - ・法人名
 - ・メールアドレス
 - ・連絡先(電話番号)
- ②ご連絡頂きましたら、メールにて当日のZOOM情報をお送りします。

ZOOM(60分)によるオンライン交流会です。実際に日本で働く外国人と参加者の皆さまが交流することで、異文化理解がさらに深まり、受入れの一助になればと考えております。(感想アンケートは参加者皆さまにお願いしております)

オンライン異文化理解交流会は

4/21(水) 14:30~15:30

ご興味のある方はI.C.NAGOYAまでお問合せください。
問合先 Eメール info@icn.gr.jp

いろいろありますが…まずは!

一緒に働く **仲間** として
私たち受け入れる側の
気持ち、想いが大切です!!